

第2回国連内陸開発途上国(LLDC)会議

藺浦大臣政務官御発言

1. 冒頭

議長閣下, 各国・国際機関代表の皆様, ご列席の皆様,

本日は, 内陸開発途上国(LLDC)の開発を話し合う非常に重要な会議にお招きいただき, お礼申し上げます。また, 開催に向けたオーストリア政府のご尽力に感謝申し上げます。

2. 民間活力によるLLDCの成長機会の創出

議長,

LLDCの成長のためには, グローバル市場へのアクセスが不可欠であることは言うまでもありません。これは, 古くから交易を通じて, 世界との結びつきを強めてきた我が国や, 近年, 高い成長率を見せるアジア地域の経験からも明らかです。

昨今, 途上国は新たな投資先・市場として注目を浴び, 世界貿易に占める割合も増加しています。グローバル・バリューチェーンへの参画は, 雇用創出, 産業の高度化等をもたらす, 効果的な成長の手段となり得ます。日本は, こうした民間資金主導の成長をLLDCにもたらすためにも, ODAを積極的に活用していきます。

3. 日本のLLDC支援

議長,

日本は, これまでもLLDCとともに歩み続けてきました。アルマティ行動計画の優先事項であるインフラ整備及び貿易円滑化は, 我が国が最も得意とする支援分野の一つです。

アフリカでは, 税関手続きの迅速化のため14か所の国境にて, ワン・ストップ・ボーダー・ポスト(OSBP)の導入, 人材育成への支援等を実施しています。例えば, ザンビアージンバブエ間のチルンド国境の通関にかかる時間は, 約4~5日から数時間にまで短縮され, 貿易・投資環境への整備に貢献しました。

メコン地域では、2015年までの日メコン協力の方針である「東京戦略2012」に基づき、ASEAN共同体構築に向けてメコン地域の連結性強化に取り組んでいます。官民連携の実施、経済回廊やスマートネットワークの整備などを支援していきます。

中央アジアでは、本年7月に開催した「中央アジア＋日本」対話・第5回外相会合での成果を踏まえ、高付加価値の農畜産物加工業の育成等、農業分野での協力を強化していきます。

また、メコン地域や中央アジアの市場経済移行国における人材育成を目指し、モンゴル、ラオス、ウズベキスタン、キルギス、カザフスタン等に日本センターを設置しており、日本の戦後経済成長の経験に基づく人材育成にこれからも貢献していきます。

このように、日本は、LLDC、通過開発途上国、開発パートナーと連携し、ハードとソフト両面からの広域経済圏の形成を通じて、総合的な物流環境の改善に取り組んでいきます。また、LLDCのオーナーシップ(自主性)を尊重し、自立と繁栄に向けたプロセスを支援していきます。

4. 結語

議長、

日本は、これからもLLDCの信頼できる力強いパートナーであり続けます。この会議は、LLDCの明るい未来に向けた新たな10年が始まる瞬間です。言うまでもなく、国の発展はそこに暮らす一人ひとりの国民のためのものです。日本は、本日ご紹介したLLDCの課題解決のための支援はもちろんのこと、貧困・疾病対策、生活インフラの整備等、途上国の人々の暮らしを向上させる多岐に亘るODAも総合的に活用し、LLDCの成長と発展に向け、これからも共に歩み続けます。

参加者の闊達な議論を通じた本会議の成功を祈念し、私の発言の締め括りとさせていただきます。

ご清聴いただきありがとうございました。

(了)